

学部案内

2022



おもしろい
大学

富山大学 芸術文化学部

University of Toyama : School of Art & Design

芸術文化学科

美術領域

工芸領域

デザイン領域

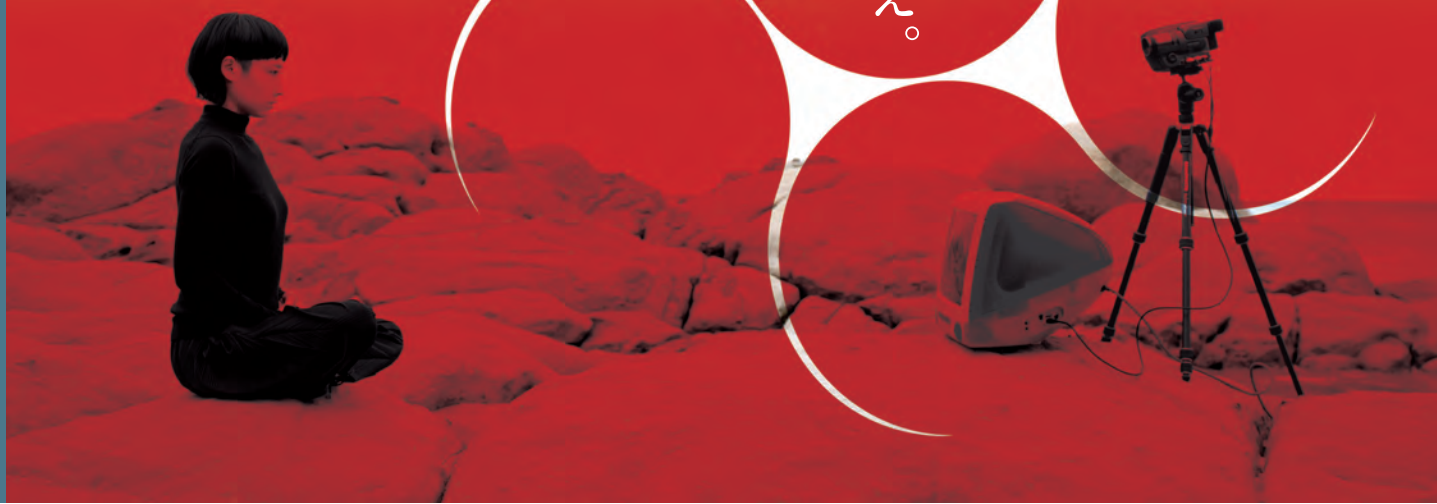
建築領域

キュレーション領域

複合領域

NEXT
VISION
JAPAN

伝統を疑え。



伝統を疑え。

芸術文化を社会に展開することで、
地域が抱える課題を解決し、
伝統的な文化から
次の世代にふさわしい価値を創出する。

NEXT VISION JAPAN



芸術は「魅力づくり」の原動力。

古来より「芸術」が担ってきた役割は、
「人間らしさのあり方を提示する」ことでした。
だからこそ、芸術がもつ「美意識」や「独特な発想」は、
企業活動から地域作りまで、社会のあらゆる場面において
それぞれの質を高め、魅力を創り出す原動力になってきました。
しかし、近年のICTの発展に端を発する急激な産業革新と社会の変容は、
日々の生活のみならず、生きる価値についてまで、
人々にあらたな順応を求めています。
ならば、これから求められる芸術の役割は、
「次の世代にふさわしい、魅力ある人間らしさの提示」です。
その担い手となるのが、芸術なのです。

世界に発信すべき地方の文化。

地方の駅前では空き店舗が目立ち、
伝統産業では、後継者不足による衰退が深刻な問題になり、
まちの人々は永きに渡る祭事の継承に悪戦苦闘しています。
伝統的な産業や文化と、情報化された現代社会との交差点で生まれる
切実な課題が地方にはいくつもあります。
そんな地方の現実を教材として捉え、
モノだけでなく体験に価値を求めるコト、
それらが総合的に展開されて生まれる「文化」を、
地域のみなさんと共に考え、世界へ発信していきたいと考えています。
日本が世界に向けて発信すべきは文化なのです。

富山をキャンパスに地域と連携した

『実践教育』

芸術文化学部がある富山県には3千メートル級の山々が連なる雄大な立山連峰や、ユネスコの世界文化遺産に認定された五箇山合掌造り集落、無形文化遺産に認定された3件の「山・鉾・屋台行事」があります。また高岡市には、江戸時代以来の鋳物や漆器等の伝統産業や、国宝瑞龍寺、重要伝統的建造物群保存地区に選定された2箇所の古い町並みなどの文化資源があります。これらの恵まれた環境を活かし、地域をキャンパスとした『実践教育』を行っています。20年余り前から全国の大学に先駆けて取り組みを開始し、継続する中で、行政や企業、自治体などと組織的な連携体制を確立しています。実践教育は、教科書から学ぶことが難しい経験的知識や技術を身につける上で効果的であると共に、目標を達成する責任感や、自ら考えて行動していく主体性を養うことができます。

「地域連携授業」と 「プロジェクト授業」

地域の現実的な課題をテーマとし、近隣の作家、職人、デザイナー等から指導を受ける授業や、関係者と協力して進める授業を「地域連携授業」としています。また、特定の課題を挙げて、問題発見及び解決までの過程、手法を実践的に学ぶ授業を「プロジェクト授業」として、共に実践的な学修機会として取り組んでいます。

学生の作品発表拠点 「芸文ギャラリー*」

高岡市中心市街地に設置している「芸文ギャラリー」は、授業成果や学生の自主制作を発表する場です。例えば、博物館実習の授業では、ギャラリーの企画展を実施しながら関連する知識や技術を学びます。また、学生サークルの自主企画展では、作品制作からパッケージデザイン、値付けや商品管理、接客までを学生が自力で運営します。

公立美術館の企画展示室で 開催される卒業展

芸術文化学部および、大学院の「卒業・修了研究制作展」は、地域の関係者と実行委員会を組織し、高岡市美術館の企画展示室を使って開催しています。卒業生と修了生は、公立美術館での展示を充実した内容にすべく、展示方法にも力を注いでいます。在学生も広報やイベント活動を分担して創り上げています。

もっと!!

芸文WEB「地域連携教育」



芸術文化学部では誌面で紹介している他、数多くの『実践教育』を行っています。ぜひ芸文のWEBサイトでご確認ください。

プロジェクト授業：ミラレ金屋町

高岡市の金屋町を舞台にして、町屋の魅力を発信、金屋町の住民と交流できるイベントが「ミラレ金屋」です。



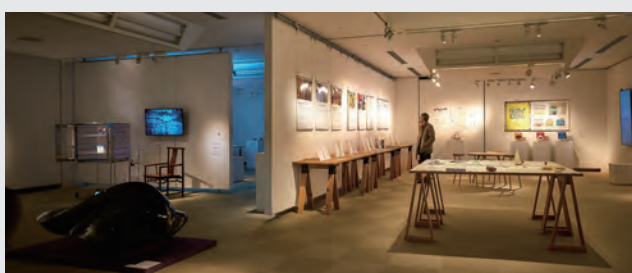
芸文ギャラリー* 授業成果や学生の自主制作の展示を行っています。

学生サークルの人気企画展「雑貨屋 Tommy Dining」(写真左)、「越中万葉百歌」をテーマにした学生と教員有志による企画展「芸文の扇子展」(写真右上)、クラフトデザインの授業成果発表「Gift(ギフト)」展(写真右下)



卒業・修了研究制作展

芸術文化学部創設時から高岡市美術館の企画展示室で公開しています。



芸術文化の原動力、多様性を自分のものにする

『融合教育』

何かを創りだしていくためには、異なる考えを持った人と交流し、領域を横断して知識や技術を学び、それらを組み替えることが効果的です。芸術文化学部では、多様な素養の学生が集い、共に学び、お互いの考えを理解する中で、創造性が発揮できるよう次のような工夫を行います。

- 実技検査(鉛筆デッサン)と小論文を選択できる入学試験
- 学生個人の適正や志望に応じて自在な履修の組み合わせが可能なカリキュラム
- 学生の履修計画や進路志望を気軽に相談できる学年指導教員制度と、メンター教員制度によるサポート体制
- アクティブラーニング(グループ討論等をふくむ能動的授業)やPBL(問題解決型授業)を取り入れた「地域連携授業」と「プロジェクト授業」
- 学部の全教員を対象に卒業研究・制作の指導教員を決定していく制度

それらを総合して実施しているのが芸術文化学部の『融合教育』です。

オープンコース方式の導入

2022年度からは、従来のコース所属制度を廃止したオープンコース方式を実施します。学生は自分の適性や志望の変化に応じて、すべての領域の授業を履修することができます(受講環境により、一部の科目で履修制限を設ける場合があります)。この学部で学べる芸術と文化に関する6つの専門領域に対して、入学時から進路が明確な学生は、その志望に必要な学修を突き詰めることができます。また自分の志望が不明瞭な学生は、6領域の専門科目を自在に履修しながら、入学から3年次の間で、じっくりと進路を見つけ出ししていくこともできます。

異なる素養の学生が共に学ぶ環境

芸術系の大学はデッサンなどの実技ができなければ入学できないと思われていますが、芸術文化学部では、小論文でも受験できます。「デッサンは描いたことがないけどクリエイティブな仕事がしたい」などの属性の学生と一緒に学ぶことで、多様性のある学修環境がつくられています。

五福キャンパスで他学部生と学び、交流する1年次

富山大学では教養教育の一元化を実施。1年次は富山市内の五福キャンパスで、他学部生と共に教養教育科目を学びます。また1年次の芸術文化学部の専門教育科目も五福キャンパスで開講します。

教員の数だけ専門性があり、学生の数だけ進む道がある

オープンコース方式による自在な履修と、自分の適性に呼応した教員との出会いの中で、4年次に取り組む「卒業研究・制作」のテーマが決まっていきます。指導教員の決定は学生の希望が優先されます。希望は芸術文化学部のすべての教員が対象となります。

実社会のさまざまな活躍現場へ

大学院

※令和4年(2022年)度より、大学院は人社芸術総合研究科に再編統合される予定です。

つくり手

創造的活動を通して
社会に豊かさを供給できる人材

つかい手

既存のもの、こと、
空間を使いこなせる人材

つなぎ手

様々な要素をつなげて、
あらたな価値を創造できる人材

芸術的思考や技能、マネジメント力を文化創出に活かす人材

●さらに高度な専門へ

●学士(芸術文化学)取得

卒業研究・制作

すべての学部教員の中から指導教員を決定します

専門教育科目

主要な各領域に特化した専門科目を自在に履修

美術領域

工芸領域

デザイン領域

建築領域

キュレーション領域

複合領域

P.12

P.13

P.14
-16

P.17
-19

P.20
-22

P.23

専門教育科目

主要な専門領域に共通して必要となる基幹的な科目を履修

教養教育

芸術文化学部

人文学部

人間発達科学部

経済学部

理学部

工学部

医学部

薬学部

都市デザイン学部

4年次

●修学のまとめ

●指導教員決定

●メンター教員制度(各年次ごとに芸文の教員が、学生個々の履修計画のサポートを担当します)

●高岡キャンパスでの受講

3年次

●特化した専門性を探求する学修段階

●各学年指導教員制度(各年次ごとに芸文の教員が、学生個々の履修計画のサポートを担当します)

2年次

●基幹的な学修段階

1年次

●多様な選択肢

全領域の教員から指導教員を希望可能。最終的な修学のまとめと進路を助言します。

●地域連携授業

●プロジェクト授業

アクティブラーニング
PBL(問題解決型授業)

●オープンコース方式

コース所属を廃することで履修制限を自由にし、学生1人ひとりの適正や興味に応じて、自分に必要な専門科目を自在に選択できる履修方式です。
入学から3年次までの期間をかけて、自分に適する専門性や進路を絞り込んでいきます。

●領域横断型の科目群

1年次には、各専門領域に共通して必要となる基幹的な専門教育科目を学修し、2年次以降の専門性の高まる修学に備えます。

●他学部生との交流

●異なる素養の学生

入学試験では、実技検査(鉛筆デッサン)と小論文から選択

実技検査(鉛筆デッサン)

小論文

特別選抜の面接、一般選抜の大学入学共通テストは共通して課される

○入試についてはP.8-9をご覧ください

芸文だからできる

『名物授業』

芸文では様々なユニークな授業が行われています。学内で繰り広げられる日々の授業の断片をピックアップ! 芸文の授業をどうぞご覧ください。

(授業名および授業内容はカリキュラム編成により変更となる場合があります)



【デザインプロジェクトG(サインデザイン)】

企業や施設と連携し実社会におけるサインデザイン制作を学ぶ授業。写真は氷見市海浜植物園内の壁面、学生の提案が採用されました。



【デザイン基礎(クラフトデザイン演習)】

クラフトデザインの入門科目として、「木のおもちゃ」のデザイン・制作を行います。素材と向き合い、自らの手でアイデアを具体化します。



【工芸実習(金工)B】

この授業では、銅板を叩いて器の制作を行います。完成した作品は、プレゼンテーションカードとともに展示します。



【デザインプロジェクトA(デザインマネジメント)】

デザインを幅広く適用するデザインマネジメントを学ぶプロジェクト。写真は富山空港との連携の中で提案を行った富山模様の傘。



【風景資源論B】

この授業では、新しい観光のスタイルを学びながら、富山らしい風景を活用した観光企画をグループワークで作ります。



【芸文基礎演習B(静物デッサン)】

デッサンやスケッチ課題を通して、アート、デザイン、建築のそれぞれの領域で必要となる「ものの見方と伝え方」を学びます。



【地域キュレーション演習】

美学、美術史、伝統文化論、文化政策、風景学、文化財科学などの研究や実践に必要な知見を、文献調査や現場調査を交えながら学びます。



【絵画技法・材料演習】

絵画について、その描画材と基底材について基礎的な知識と経験を得る授業です。



【色彩基礎演習】

色彩学の入門として、色が見える仕組み、表し方、配色手法について、色彩検定3級レベルの内容を学びます。



【プロジェクト授業/LIVING ART in TOYAMA】

例年、8月末に富山市の大山地区で開催されるアートイベントです。芸文生がパフォーマーやサポートスタッフとして参加しています。



【芸文総合演習C(シェルター)】

富山県氷見市の里山に群生する氷見スギとタイベック、金物のみを使用して1坪程度のシェルターづくりに取り組みます。



【芸文基礎演習C(造形課題)】

基礎的な立体感を養い、素材特性を理解し、造形能力を身につける授業。紙の裁断・折り・曲げによって「紙の照明」を制作します。



【博物館実習】

掛軸、工芸品、額装など各種美術作品の基本的な取り扱い方や、梱包の仕方、展示方法など、学芸員として基本の技術を実習します。



【卒業研究・制作】

卒展を前に行われる最終講評会に学部外部からゲスト講師を招聘。学外の目からみた率直な助言と批評を得ます。



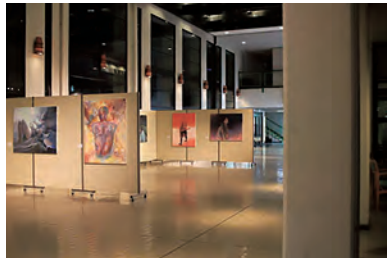
【デザインプロジェクトE(トランスポートデザイン)】

基本知識理解からコンセプト構築、発想と表現習得から応用までを著名な自動車メーカーの直接指導のもとで学ぶ、カーデザインの授業です。



【プロジェクト授業/リノベーション演習B】

映画のロケ地でも使用された富山県射水市の内川沿いの番屋をカフェとギャラリーにリノベーションしました。



【絵画実習B】

制作課題は「人物」。画面の大きさは50号(116.7×90.9cm)。吹き抜けのエントランスはいつも作品発表の場となっています。



【デザインプロジェクトC(家具)】

木工機械のNCルーターを用い、工作機械を動かすプログラミングの基礎知識を学び、加工機の特徴を活かした木製品の製作を行います。



【芸文総合演習B】

課題の芸文TシャツはスタッフTシャツとして、芸文バッジは来場者用プレゼントとして、芸文のオープンキャンパスにて使用されます。



【展示演習】

自分の作品を展示発表するとはどういうことなのか。展覧会の企画から運営を通して、表現することの意義を実践的に学びます。



【CG基礎演習】

代表的なDTPアプリケーションによるCG技能、印刷発注の方法を身につけます。課題は文庫本カバーのデザインと印刷用原稿制作です。



【デザイン基礎(ビジュアルデザイン演習)】

自分を紹介する自分チラシと自分ステーションナリーの制作を通して、ビジュアルデザインの基礎を習得します。



【まちづくり】

毎年、高岡のまちづくりに対する具体的な行動を授業課題としています。写真は高岡駅で開催したフラッシュモブの様子。



【プロジェクト授業/高岡クラフト市場街】

毎年、秋頃に高岡市で開催されるクラフトに関する総合イベントに企画段階から参加し、イベントコンテンツを盛り上げます。



【芸文基礎演習C(構造課題)】

スチレンボードで荷重に耐えられるタワーを制作します。限られた材料とユニット構造という制約の中で機能を実現する造形を探ります。



【プレゼンテーション演習】

人に伝える価値のある情報を見つけ、情報が発信される人と環境をふまえながら、伝わりやすい内容に情報を整理・演出する授業です。



入試は

『実技か小論文を選ぶ』

あなたは技能系？ 論理系？

得意な「募集区分単位」での選抜です

芸術文化学部では、2つの「募集区分単位」での入学者選抜を行っています。

右表のとおり、特別選抜（学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜）、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）、いずれの入試でも実技検査（鉛筆デッサン）と小論文のどちらか一方を選択する募集区分を設けて行います。入学した学生は本人の志望や適正を半期ごとに判断しながら、必要な領域の専門教育科目を自在に組み合わせ履修していきます。このオープンコース方式の学修を通じて、多様な選択肢の中から進路を決めていくことができます。

富山大学・入試情報 <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/>



富山大学・入試情報・過去問題 https://www.u-toyama.ac.jp/admission/undergraduate-exam/past_exams/



特別選抜／学校推薦型選抜、帰国生徒選抜、社会人選抜 大学入学共通テストは課しません

区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	実技検査 [100点] (鉛筆デッサン) [3時間(180分)] 面接 [100点]	小論文 [100点] 面接 [100点]
募集人員	20名	15名

一般選抜／前期日程

区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	大学入学共通テスト [500点] (3教科3科目又は3教科4科目) 実技検査 [500点] (鉛筆デッサン) [3時間(180分)]	大学入学共通テスト [800点] (5教科6科目又は5教科7科目) 小論文 [200点]
募集人員	25名	30名

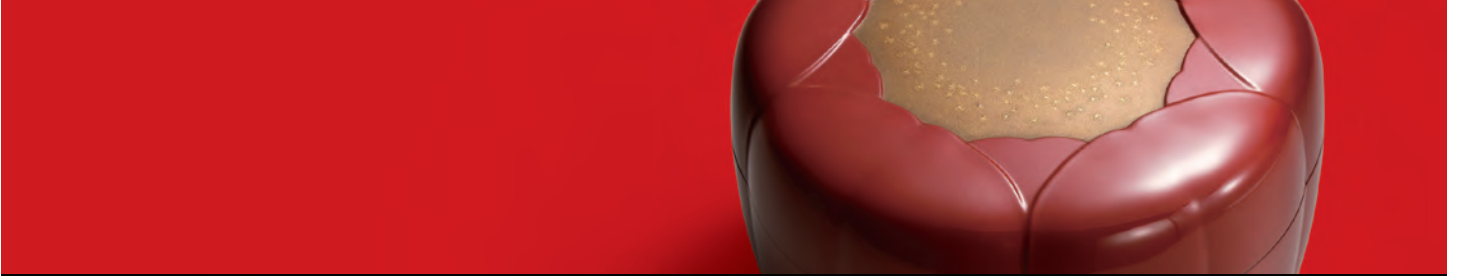
私費外国人留学生選抜については、入学者選抜要項を確認ください。

一般選抜／後期日程

区分	募集区分a	募集区分b
選抜方法	大学入学共通テスト [400点] (2教科2科目又は2教科3科目) 実技検査 [400点] (鉛筆デッサン) [3時間(180分)]	大学入学共通テスト [600点] (3教科3科目、3教科4科目又は2教科3科目) 小論文 [300点]
募集人員	10名	10名

上記は2021年度入学選抜における情報です。[]は配点。

入試の詳細は、7月中旬に公表される入学者選抜要項を確認ください。



芸文で
学べる。ユ。

突き詰めるもよし 幅広く知るもよし



あなたらしい学び方で
あなたに合った道を見つかる。



豊かな視点と観点で 新しいストーリーを生み出す

美術領域

絵画 | 彫刻 | 現代美術

絵画・彫刻立体領域ともに、
様々な技法や素材の中から思考し、
自らの造形感覚を高めていきます。
造形スキルのみならず、理論や歴史文脈についての
理解も深め、「考え方」に重点をおいた
個々の芸術表現の確立を目指します。



インスタレーション授業作品



専門科目 造形を学ぶ
造形に関する基礎演習

塑造による彫刻・立体造形の基礎的な授業です。授業前半では解剖図資料や石膏模型を元に頭蓋骨をつくり、そこに肉付けをして最終的に自分の頭部の像(首像)を制作します。



専門科目 絵画を学ぶ
絵画に関する基礎演習

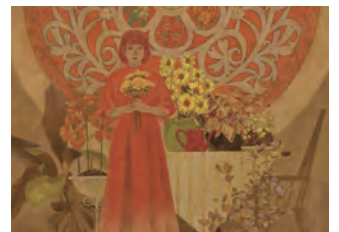
油絵具、日本画画材などの画材を用いて基礎的な制作に取り組みます。自画像、植物画、静物画などの制作を通して、様々な画材や表現を試行することで、制作する手順や絵画制作の基礎的な表現技法への理解を深めます。



卒業制作 彫刻作品
小さな森を愛する

長谷川桃子(2020年3月卒業)

本作品は、自己の夢を題材に自分にとって心地よいものや場面をモチーフとした彫刻作品です。造形表現もさることながら、もともと日本画を学んできた彩色の技術を生かした作品となっています。



卒業制作 絵画作品
乞い願わくば

新藤美希(2021年3月卒業)

絵画領域では、日本画、油画専攻の学生が同じアトリエで、制作を行います。本作品は日本画専攻の学生の卒業制作です。「祈り」をテーマにした、日本画画材ならではの優しい色調で統一された画面が美しく、人物の表情が印象的です。

確かな目線と 精巧な技術



卒業制作「蛾文蒔絵八角箱」／高橋茉莉(2020年3月卒業)

工芸領域

金属工芸 | 漆工芸 | 生活工芸

金属工芸と漆工芸の2つの専門から、
伝統技法を基本として先端技術を取り込み、
手で感じ学んだことを、これからの時代を考えた
豊かな形として表現する手段を身につけます。



卒業制作「ジュエリーボックス『フェアリーテイル』」／中越皐月(2017年3月卒業)



専門科目 漆工を学ぶ
漆に関する工芸実習



専門科目 漆工を学ぶ
漆に関する工芸実習



専門科目 鍛金・彫金を学ぶ
金属に関する工芸実習



専門科目 鋳金を学ぶ
金属に関する工芸実習

漆の基本的技術が凝縮している漆塗装を通して、漆工芸の基礎を学びます。素地から布着せ、下地、研磨、上塗り、呂色仕上げ、それぞれの工程に使用する用具の仕立までを通して行うことで、漆工芸の世界を知り、その後の表現の土壌を作ります。

左の実習で制作した手板に様々な技法を用いた加飾を行います。ひとつは刀の鞘を多種多様に飾った「変わり塗り」を、他には金、銀粉や貝の薄板を用いた「蒔絵」と「螺鈿」による加飾を学びます。素材の特性をよく理解し、魅力を生かす技法、表現法を身につけます。

金属材料を直接、加工・成形する技法を学びます。切削や曲げ、口ウ付けなどによる指輪の制作や、金属の持つ朔性(そせい)という性質を活かした錠紋技法による器の制作を課題として、材料と多様な技法の特性を理解し、その魅力を引き出すものづくりの力を育みます。

金属材料を高温に熱して溶かし、鋳型へ流し込んで形を作る鋳金の技法を学びます。伝統的な技法による作品制作や、最先端の真空吸引加圧鋳造機を使用した精密鋳造技法によるジュエリー制作を課題として、鋳物ならではの魅力を活かしたものづくりの力を育みます。



手わざから
始まるアイデアで
豊かな生活を
提案する

基礎演習での課題作品／紙の照明

デザイン領域

クラフトデザイン

充実した設備環境+手わざのものづくりからは、
実感のある気づきと発見が生まれます。
人の生活がみえる、つくりながら考えるデザインに
取り組み、ものづくり領域のデザイン専門職に
つながる教育を行なっています。



クラフトデザインの実習風景



専門科目 紙の照明をつくる
素材を知る基礎演習
(紙)

実際に手を動かし、素材(紙)や現象
(光や陰影)と向き合いながら、紙の
質感、表情、造形性、透過性、等々、
紙素材のあらゆる特徴を体感し発
見したことを元に、オリジナルな紙の
照明へ展開します。



専門科目 木のおもちゃをつくる
素材を知る基礎演習
(木材)

木工の基礎的な加工技術を習得す
るとともに、木材の材料特性につ
いて理解を深めます。また、素材と向き
合い、与えられた条件の中でアイ
デアを具体化するデザインプロセスに
ついて学びます。



地域連携 ホームユースアイテム
クラフト製品開発の実践

より実践的な授業を展開するため、
外部(企業、行政、各種団体)に協
力を仰ぎ、実践教育の密度の高い地
域連携型の授業として設定してい
ます。富山の木製品製造メーカー
と連携し、ホームユースアイテム
の開発に取り組みます。



卒業制作 家具デザイン
空中楼阁

塩谷夏海(2020年3月卒業)

キャビネットをカップが住んでいる
「家」に見立て、独自の世界観でデ
ザインされた本作品は、遊び心もあ
り、見る者に様々な思いや感情を
与えてくれます。細部の作り込み
や技術的な完成度も高く、とて
美しく仕上がっています。



新鮮な発想力で 最適解を見つけ出す

デザインの導入授業(平面課題)/Tシャツ「GEIBUN & TOYAMA」

デザイン領域

ビジュアルデザイン

ビジュアルコミュニケーションを通じて、
カスタマーへ発見や気づきを提供する
地域ブランディングやコミュニケーションデザイン、
パッケージなどのデザインに取り組み、
幅広い領域のデザイン専門職に
つながる教育を行なっています。



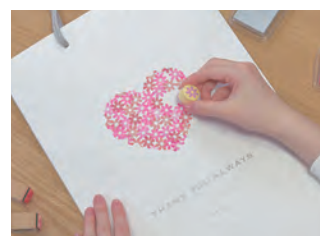
高岡クラフト市場街「職人スタンプラリー」



専門科目 デザインの基本を学ぶ
ビジュアルデザインの導入



専門科目 マイステーションナリー
ビジュアルデザインの基礎



地域連携 ワークショップ企画
THANK YOU ALWAYS



卒業制作 グラフィックデザイン
百人一趣

基本的なデザインの考え方、発想の方法、視覚化および立体化のための演習として、平面課題(バッジ&Tシャツ)と立体課題(ダンボールツール)に取り組みます。

ビジュアルデザイン表現の基礎としてロゴマークの制作とレイアウトデザインを学びます。マイロゴをレイアウトしたマイネームカード、自分をアピールするマイネームカード、自分をアピールするマイチラシ、自分をブランディングするマイステーションナリーの制作に取り組みます。

イオンモール高岡にて、金屋町の石畳をモチーフにした世界にひとつだけの贈り物をコンセプトに、ラッピングバッグとメッセージカードを作るワークショップを企画・デザインしました。

寺本真志帆(2020年3月卒業)

万葉集ゆかりの地である高岡において、百人一首をテーマとした卒業制作。具象的すぎると、読み手の想像を損ねてしまう。抽象的すぎると新たな興味を抱くことが困難となる。具象と抽象のほどよいバランスをとりつつ描き出しています。

人に愛される モノを 生み出す



デザインの基礎科目(プロダクトデザイン課題)/富山弁モビール「な〜ん」

デザイン領域

プロダクトデザイン

人の未来を提案するカーデザインや生活家電、
感覚を揺さぶる生活雑貨や
エンターテインメント系デザインに取り組み、
大手メーカーの専門職につながる
教育を実践しています。



デザインの展開型科目(プロダクトデザイン課題)/水滴のような手袋「mizutama」



専門科目 とやまモビールをつくる
製品デザインの基礎

「富山らしさ」のあるモビールを提案します。デザイン基礎力の向上を目的にプロトタイプモデルまで制作し、デザイン力、制作力、社会展開力を養い、社会的評価までを含めた総合的なプロダクトデザインを学びます。



専門科目 プロジェクト型授業
製品デザインの実践

地域と連携したテーマ「地域×芸文のプロダクト」に取り組みます。デザイン展開力の向上を目的に、富山県および県内企業と連携した密度の高いプロジェクト型授業です。連携企業が求めるテーマに対し、芸文のユニークな提案でこれに応えています。



卒業制作 STEAMデザイン
水紋の器

且味咲希(2020年3月卒業)

芸術だけではなく、STEAMといった科学や技術等が含まれている新しいプロダクトデザインです。水が入ったガラスの器に強弱も含めた波(周波数)を作り出し内蔵された照明効果により、周りの空間に美しく心地よい水紋が映し出されます。



卒業制作 モビリティデザイン
bbike

横山輝(2021年3月卒業)

シンプルな平面から機構が飛び出し変形する一人乗りのEVバイクです。制作は県内プロトタイプ製造企業や富山大学工学部機械工場と協力し、機構設計や実装も含めて進めたユニークな卒業プロジェクトとなっています。

新しい営みを 生み出す



シェルター制作

建築領域

建築設計

理論講義や設計演習、実寸大制作を通して、芸術と工学、実践と理論の統合プロセスを学習し、構造・構法と意匠に立脚した空間表現の技法を習得することで、発想力・設計力やプレゼンテーション能力を発揮できる専門人材を育成します。



卒業制作「IDEC+糸魚川の地域防災力を展示するための防災ハイブリッド施設ー」
岩崎遥華(2019年3月卒業)



専門科目 建築家の視点で捉える
人と空間の関係を学ぶ

建築家の目を見た「人が世界を組み立てる方法」を読みといていく講義です。過去には、一枚の布を纏うことが人と世界のあり方を変えてゆくことを講義した後、受講生全員でワンピースを制作し、成果を図書館ファッションショーで発表しました。



専門科目 シェルターをつくる
実寸建築の体験

スケッチ、模型、図面を作成し、それをもとに実寸大で建築を制作する演習。協働作業を通してチームワークを学ぶとともに、実際の空間を作ること、スケール、素材、強度を体験的に学びます。



専門科目 設計を学ぶ
時間と空間の設計

戦災で歴史を消失した富山市に、現代の都市の活気を満喫し、かつ古(いにしえ)の富山を感じることができる集合住宅を計画することで、自由に現代的な美学に基づいて設計する能力を習得します。



専門科目 設計を学ぶ
空間デザインの演習

富山市の城址公園の一角に、メディアを納める図書館を設計する3年生の課題です。この修学段階に入ると、多少複雑なプログラムを扱い大胆な建築を設計できるようになります。

空間をつくる 風土を感じる



空間デザインの授業風景

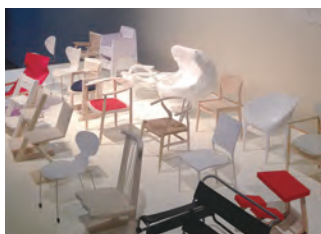
建築領域

建築再生・ インテリアデザイン

自身でデザインした家具の制作や実測調査した伝統的建築や町家の再生計画を詳細に提案することを通して、インテリアデザインや建築再生の現場で活躍できる専門人材を育成します。



氷見の倉庫改修プロジェクト



専門科目 インテリアを学ぶ
椅子と人と空間の関係

名作椅子を実測し、図面・模型をつくれます。それを生かして椅子をデザインし、原寸大で製作します。人間と椅子・空間と椅子・人間と空間の関係について学びます。



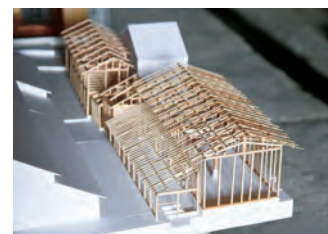
専門科目 設計を学ぶ
木質構造を設計する

金屋町に新しい仕事場と住宅を設計する演習。町家の軸組模型を制作し木造を学び、伝統的な構造や技法を理解して、設計に取り組みます。日本近世の建築美学を体現する住宅をつくれます。



専門科目 設計を学ぶ
建物と空間の再生

伝統的な町家の実測を行い、既存の図面を作成し、それをもとに学生シェアハウスを設計する演習です。建築再生の基礎について実践的に学びます。



地域連携 設計を学ぶ
氷見の倉庫改修プロジェクト

富山県氷見市にある倉庫を学生シェアハウスにリノベーションする設計演習。倉庫の軸組模型を制作し、プランを検討します。最後は、地域で発表会を行いました。

「幸せな暮らしを支えるまち」をデザインする



プロジェクト授業 / ミラレ金屋町

建築領域

地域デザイン

文献調査やフィールド・サーヴェイを通して地域の歴史・文化などの特性と課題を明らかにし、建築的思考に基づいて地域課題の解決や生活環境の向上につながる提案や実践を行い、地域づくりの専門人材を育成します。



地域リノベーションに関する授業風景



専門科目 地域のリノベーション
地域という空間の再生



地域連携 ミラレガイドツアー
プロジェクト授業
ミラレ金屋町



地域連携 子ども建築ワークショップ
やるキッズ！
つくろうみんなの商店街



地域連携 まちづくりワークショップ
大手モールらしい
景観づくりプロジェクト

小矢部市の石動商店街をフィールドに、現地調査やヒアリングを行い、その特徴や課題を視覚化。その分析結果に基づき、具体的な建物や場所に焦点を絞り、ミクロな視点から具体的なデザインやしかけの提案を行いました。

高岡市の金屋町を舞台にして、町家や町並みの魅力を発信するイベント「ミラレ金屋町」。その一貫として、まちを巡るガイドツアーの企画・運営を住民と協働で行います。

地元の小学生を対象に、建築模型を制作し、商店街をつくるワークショップを企画運営します。未来の地域を担う子どもたちに建築の楽しさや地域の魅力を伝えます。

富山市の中心市街地にある大手モールにおいて、大手モールらしい景観形成に寄与するストリートファニチャーを市民参加で制作するワークショップを実施しました。

地域という文化資源を 磨き上げる



地域の産業が生み出した文化的な風景の調査

キュレーション領域

まちづくり

地域の伝統文化や地場工芸産業の振興に携わる公務員やNPO職員、文化の継承や観光活動を通じて地域活性化に関わる法人、旅行業等を目指す学生のための教育プログラムです。地域が育ててきた祭礼や伝統産業、風景といった文化的な地域資源の活用について系統的に学びます。



三郎丸蒸留所(北陸唯一のウイスキー蒸留所)の見学



地域連携 高岡水辺マップ
高岡元気発信プロジェクト

高岡市内の水資源に注目し、「高岡水辺マップ」を作成しました。伝統産業の町のイメージが強い高岡に、意外な一面があることを地域の人達と共有したいという思いで、編集に取り組みました。



地域連携 地域応援プロジェクト
福岡町つくりもんプロジェクト

福岡町つくりもんまつりの学生による応援プロジェクトとして情報発信の支援やオンライン開催、大学でのリモート開催などの協力を行いました。



地域連携 地域応援プロジェクト
越中福岡の菅笠振興プロジェクト

越中福岡の菅笠(すげがさ)の振興を目的に、菅笠の制作体験を行うとともに、呉西地区の観光モデルツアーを作り、菅笠を被って巡回いたしました。



地域連携 産業観光調査
文化政策論ゼミ

呉西地区の産業観光調査を行うため、能作、高岡地域地場産業センター、モメンタム・ファクトリー Orii などの見学や体験を実施しました。

先人の想いを ひも解き 次世代につなげる



金銅仏のX線透過撮影

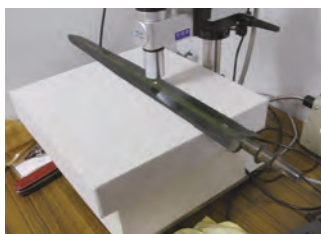
キュレーション領域

文化財活用

文化財を歴史や文化、科学の面から多角的・総合的にとらえ、文化財の適切な保存と持続可能な活用方法を提案できる力を養成します。最新鋭の計測機器を用いた成分分析、3D画像分析等を行い、科学的手法により解明する講義・実習を展開しています。文化財保護に関連する企業、公務員など、地域文化の向上のために貢献する人材を育成します。



インドの工房での青銅器製作調査



調査研究 文化財を科学的に知る
古代青銅器に関する調査

中国や日本など古代のアジア地域で作られた青銅鏡、鐘、剣、戈、鏡などを対象に、科学的な方法で成分や制作技術の解明を進めています。



専門科目 博物館学芸員資格関連
博物館とは何か

博物館学芸員資格科目の導入として、博物館の歴史や博物館学の基本を理解し、博物館に関する専門的学修の基礎となる知識を身につけます。豊富な事例から学び、博物館の課題について考える、実践的な能力も養います。



調査研究 学内収蔵品の企画展示
「大郷コレクションの青銅花器
一炎の想い、花の願い」展

学部が収蔵する工芸作品の調査研究を行い、企画展を開催しています。学生も参加し、皆で作品調査を行い、作品解説執筆や展示作業を実習します。博物館における企画から展示までを体験し、日ごろの学修を深めます。



卒業論文 調査研究
瑞龍寺における狩野派の
絵画作品について
大野比奈(2019年3月卒業)

富山県高岡市の国宝・瑞龍寺に残る、江戸時代の狩野派の絵画作品を研究しました。その画題の多くは、前田利常が利長の菩提を弔うもので、背景には後水尾天皇との交流や東西の一流の文化の影響があることを論じました。

アートと人をつなぎ アートの行く先を照らす



博物館実習

キュレーション領域

アートマネジメント

美術館、博物館の学芸員や、芸術活動に関わる公務員、NPOの職員などを目指すための教育プログラムです。西洋、東洋、日本の各美術史や工芸史、デザイン史、美学の理論的諸科目に加えて、基礎となる実技初歩や博物館学、実践的展示活動、アートマネジメント等を学び、専門的職業人としての素養を身に付けます。



博物館実習



専門科目 博物館学芸員資格関連
博物館での現地実習



地域連携 展示を学ぶ
ミラレ金屋町・展示班



地域連携 アートプロジェクト
地域／私のヴァナキュラー
をめぐる旅



調査研究 作家によるレクチャー
「アートと地域の協働を
キュレーションする」研究会

4年生の博物館実習では、美術作品の取り扱い、梱包、調査、展示方法などについて実習します。また夏休みを利用して、学外の博物館・美術館で8日間の実習も行います。これまでの博物館学の学修を総括する実習です。

富山県高岡市の金屋町で行われているアートイベント「ミラレ金屋町」において、本学部が収蔵している金工・漆工・木工の作品を展示しました。学生が主体となって、企画から展示まで、互いに協力しながら行っています。

高岡市との連携事業「高岡元気発信プロジェクト」のアート編企画です。現代美術作家の徳重道朗さんと協働して「ヴァナキュラー」という概念を手がかりに、住人の皆さんに話を聴きながら高岡に潜在する魅力を発掘しました。

詩人の松井茂さんをお招きして「方法詩の実践と社会との関わりについて」をテーマにレクチャーいただきました。松井さんの詩の制作を手がかりに、芸術祭やアートプロジェクトとは異なるアートと地域の新たな協働の可能性を探りました。



アートで 社会に 訴える

卒業制作「#watercrisis」／芦田麻都佳(2020年3月卒業)

複合領域

**媒体芸術 | 芸術と工学 | 情報科学
言語・身体芸術**

複合領域では、社会を取り巻く
様々なテクノロジーやメディア環境と
多様な芸術的表現を複合することで、
芸術と社会の新たな関係を創出する
開拓的な芸術の探求と実践を行います。



卒業制作「#watercrisis」展示風景／芦田麻都佳(2020年3月卒業)



専門科目 メディアアートの授業
媒体芸術の基礎技術

映像、センシング技術、プログラミング技術等の基礎的な制御技術を実践し、メディアアートの基本的な考え方と表現手法について学びます。



専門科目 創作とジェンダーの関係
人はなぜ創作するのか

芸術には長い間、女性が関わる必要のないものという「社会通念」が立ちはだかっていました。それでも創作に立ち向かった女性作家たちの作品を通して、女性の、そして人間の創作活動のあり方を考えていきます。



専門科目 データサイエンスの授業
“美”を科学的に測定する

古くは紀元前から、建築、機械や道具の仕様、あるいは美しいと感じられるプロポーションは、「人体」という普遍的な規格が創造の礎でした。人体を測定し、人の動作の基点やプロポーションを理解する。それが、様々な創造の「物差し」となるのです。



卒業制作 サウンドアート
通信障害を着る人々

宮崎里歩(2021年3月卒業)

聴覚障害の認定制度の問題点に焦点を当てたサウンドアート作品です。現行の制度では障害者手帳を取得できない難聴者の聴力を、基準を満たすレベルに補正する非合法的な音響装置です。社会制度と現実の齟齬を逆説的に問題提起しています。

どこまでもひろがる、未来のはなし

『卒業生の活躍』

もっと!!

芸文WEB「卒業生の活躍」



芸術や美術を学んだら、みんな画家やデザイナーになるわけではありません。
芸文の向こう側に広がる未来を卒業生の活動から感じてください。



出会いの一つ一つを大切に

デザイナー | 株式会社 能作

河原つかさ | デザイン領域(当時 デザイン情報コース)卒業

在学中は地域と関わるイベントの企画・運営に参加したり、ものづくりサークルで高岡の職人さんと共に活動したりしました。様々な人と関わったり、経験を積むことで身についた考え方や技術が役立っています。



知らない事をやると、新しく好きになる時もある

個人事業主 | 氷見市地域おこし協力隊 tototo代表

野口朋寿 | 工芸領域(当時 デザイン工芸コース)卒業
大学院(当時 芸術文化学研究科)修了

在学中は漆工を学びながら魚の皮を加工してレザーにする実験をはじめ、タイに短期留学するなど、様々な事に挑戦しました。そこで生まれた人との出会いから起業するという選択ができたと感じています。



地域のために何か自分にできないか

報道記者 | 北陸朝日放送株式会社

橋本星奈 | キュレーション領域(当時 文化マネジメントコース)卒業

大学時代、まちづくりや地域活性化について学びました。地方の現状や改善にどのような活動が行われているのか、それらを知られたことで、いま取材をする際のヒントやポイントを見つけることができています。



経験が人との出会いにつながる

建築設計 | A Nomad Sub 株式会社

乙川佳奈子 | 建築領域(当時 造形建築科学コース)卒業
大学院(当時 芸術文化学研究科)修了

芸文では、家具の制作からランドスケープも含めた建築の提案など、様々なスケールを横断しながら学べるため、設計に必要な能力は十分身につくと思います。少人数授業での先生方からの細やかな指導には感謝しています。



様々な交流が社会に出た時の糧になる

舞台技術スタッフ | 公益財団法人 富山県文化振興財団(富山県高岡市文化ホール)

野尻将樹 | キュレーション領域(当時 文化マネジメントコース)卒業

私は舞台美術スタッフとしてホール催事での照明オペレート、音響オペレートの他、備品管理および整備を主な業務とし、時にはホール主催事業で企画制作業務も行っています。



実践的な体験ができる

モデラー | 本田技研工業株式会社 二輪事業本部 ものづくりセンター デザイン開発部
竹内秀太 | デザイン領域(当時 デザイン工芸コース)卒業

「オートバイを作る」という今の仕事に就く上で、大学時代に工学部と連携してレースマシンを作った「学生フォーミュラプロジェクト」で得た知識と経験や、高岡の職人の皆様と一緒にクラフトコンペ出品作の制作で学んだモノづくりのノウハウ等が大いに役立っています。



総合的なデザイン思考が身につく

場づくりプロデュース | グリーンノートレーベル株式会社
西田芽衣 | 工芸領域(当時 デザイン工芸コース)卒業
大学院(当時 芸術文化学研究所)修了

芸文では他領域の友達の作業風景やアイデアの考え方を間近で見られたことで、総合的なデザインの考え方が身についたと思います。友達のゼミ室へ遊びに行き作業している姿を眺めながらお喋りしていただけていますが、いま思うと、そうした瞬間に沢山の情報が詰まっていたと思います。



地元に出て何かやってみるきっかけ

地方公務員 | 柏崎市役所 総合企画部元気発信課情報発信係
阿部祐香 | キュレーション領域(当時 文化マネジメントコース)卒業

芸文では、地元が好き、地元で何か役に立つことがしたいと思いい、地域活性化や文化政策について学びました。地域でどんな特色ある取り組みが行われているか、その地域の売り・魅力をどう展開していくか、いろいろな事例を学ぶことができました。



興味関心の種を自主制作で育てる

グラフィックデザイナー | 株式会社ROLE
久保田光明 | デザイン領域(当時 デザイン情報コース)卒業

芸文の授業課題や課外活動の中で「周りとは違うものを作りつつスベリたくない」と心がけ取り組んでいたことが、現在のクライアントに喜んでもらえる仕事にも繋がっている気がします。

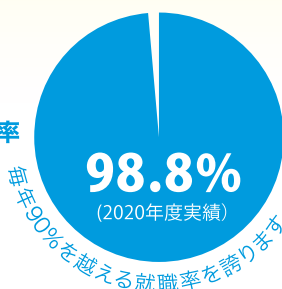


のびのびした環境が様々なチャレンジを呼ぶ

造形作家
川越ゆりえ | 美術領域(当時 造形芸術コース)卒業、大学院(当時 芸術文化学研究所)修了

芸文は作品制作に打ち込める、のびのびとした環境で、軽いフットワークで様々なチャレンジができました。大学生活の初期は絵画(油画)を中心に学んでいましたが、3年次から取り組んだ粘土造形の助言を多くいただき、おかげで表現の幅が大きく広がり、現在も大変楽しく作品制作を行っています。

芸文の就職率



主な就職先(2020年度卒業生)

三協立山、光岡自動車、スバル自動車工業、ダイハツ工業、コマンシー、富山スガキ、福島印刷、笹徳印刷、富山地方鉄道、富山テレビ放送、日本通運、石友ホーム、竹中工務店、鍛冶田工務店、日比野設計、空建築事務所、中央設計技術研究所、森下組、アッシュホーム、綜企画設計、群馬総合土地販売、アーキジオ、iALINK株式会社、松田電気工業所、マルニ木工、アイシン、石金製機、富山県水墨美術館、入善町役場、名古屋市役所、津幡町役場、大阪税関、箕面市役所、上越市役所

主な進学先(2020年度卒業生)

富山大学大学院、筑波大学大学院、京都芸術大学大学院、上智大学大学院



LAB応用科学大学

フィンランド共和国

LAB応用科学大学(旧ラハティ応用科学大学、統合により2020年から大学名変更)は、前身であるラハティ・ポリテクニック(職能大学)時代から実学に重きを置いた教育を展開しています。デザイン学部においても、企業との産学協同プロジェクトをはじめ、実践力を身につける教育プログラムが組まれています。



芸文とつながる世界へ行こう！

『国際交流・留学』



ブラハ美術工芸大学

チェコ共和国

ブラハ美術工芸大学は1885年に創立。チェコ共和国内の芸術系大学の中でも最も歴史のある大学であり、建築、デザイン、芸術、応用芸術、グラフィック、美術史美学などの学部を擁しています。ガラス芸術をはじめとする東ヨーロッパの優れた芸術を学ぶことができます。





カペラガーデン美術工芸学校 スウェーデン王国

カペラガーデン美術工芸学校は、木工・織・染色・陶芸・演芸の4コースがあり、優れた作り手と豊かなつかい手の育成を目指しています。美しい工房と宿舎での生活が、豊かな暮らしを作ることを意味を問いかける学校です。



もっと!!

芸文WEB「留学生の今日」



芸文生が留学時の
現地レポート公開中

Finland
Sweden

Czech

Thailand
Japan



パタナシン芸術大学 タイ王国

タイ王国パタナシン芸術大学は、美術・工芸・デザイン・建築・舞踊・音楽といった幅広い教育を行っています。タイの伝統的な絵画、漆工芸、建築はもとより、現代的な感性が融合することで、アートやデザインのダイナミックな流れを肌で感じ、学ぶことができます。





『教員紹介』

バラエティーに富んだ教授陣

有田 行男 准教授
デザインマネジメント、コミュニケーションデザイン
プロダクトデザイン

小川 太郎 講師
漆芸

三宮 千佳 准教授
東洋美術史、日本美術史(古代～中世)
博物館学

伊東 多佳子 准教授
美学、芸術哲学、環境美学、環境芸術論

沖 和宏 准教授
視覚伝達デザイン

島添 貴美子 教授
民族音楽学、民俗芸能研究、伝統文化論

今淵 純子 准教授
彫鍛金技術による造形と技術研究、工芸教育

奥 敬一 教授
風景計画学、観光資源論、里山学

清水 克朗 准教授
美術鑄造

上原 雄史 教授
建築意匠、建築設計、アーバンイズム

小田 夕香理 准教授
英文学

新谷 仁美 特命助教
漆芸、文化財修復

内田 和美 教授
プロダクトデザイン、トランスポートデザイン

河原 雅典 教授
人間工学、働態学

須田 久美子 講師
19世紀イギリス文学、英語教育関連分野

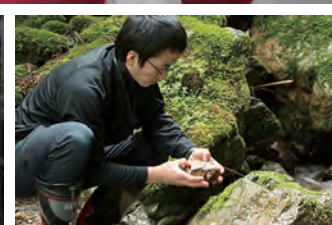
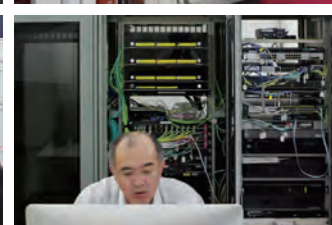
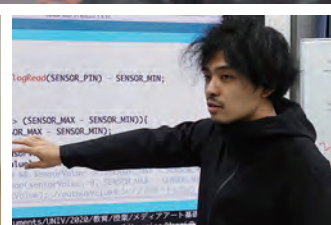
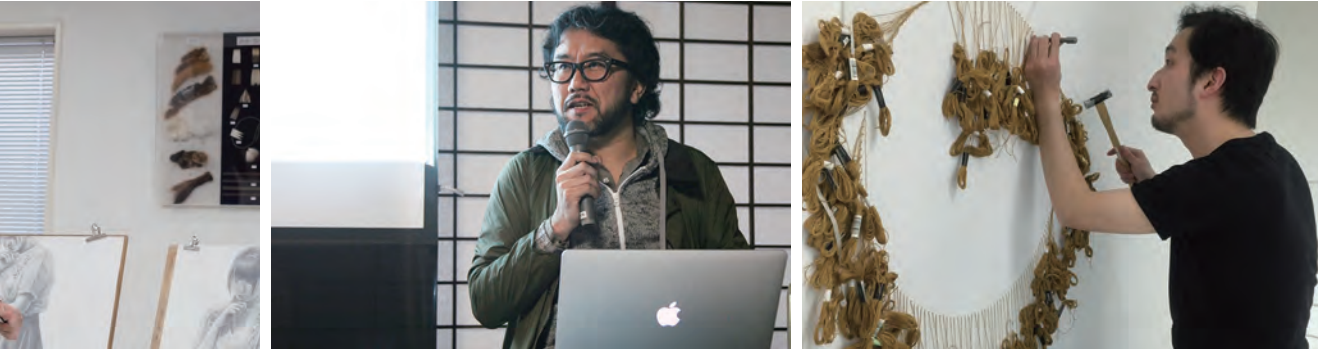
大氏 正嗣 教授
構造デザイン、数理的配置計画
木材の積層架構等

齋藤 晴之 教授
工芸美術、漆造形、立体表現

高橋 誠一 教授
漆工芸、漆造形、生活工芸

岡本 知久 講師
広告コミュニケーションデザイン
ブランディングデザイン、タイポグラフィデザイン
タイプ(フォント)デザイン、エディトリアルデザイン

佐藤 弘隆 助教
メディアアート、デジタルアート



もっと!!
 芸文WEB「受験生へのメッセージ」



田邊 元 講師
 スポーツ人類学、民俗学、武術研究
 民俗芸能研究

辻合 秀一 准教授
 デジタルテクノロジー、Computer Graphics
 画像処理、ヒューマンインターフェース
 複合現実感

内藤 裕孝 講師
 家具デザイン、プロダクトデザイン

長柄 毅一 教授【芸術文化学部長】
 金属材料学、金属材料加工学、文化財科学

長岡 大樹 助教
 建築論、芸術論

長田 堅二郎 講師
 現代造形芸術、現代美術、立体造形

西島 治樹 教授
 美術(メディアアート)

萩野 紀一郎 准教授
 建築設計・保存・再生、インテリアデザイン

林 暁 教授【富山大学卓越教授】
 美学(漆工芸)

平田 昌輝 講師
 彫刻、塑造

藤田 徹也 准教授
 情報処理

松田 愛 講師
 西洋美術史、近現代美術論
 アートマネジメント

松村 浩之 講師
 油画

村田 聡 教授
 石油化学、触媒化学

安嶋 是晴 准教授
 文化政策論、伝統産業論、地域経営論

藪谷 祐介 講師
 コミュニティデザイン、建築計画

幸 亮太 講師
 日本画

横山 天心 准教授
 建築意匠

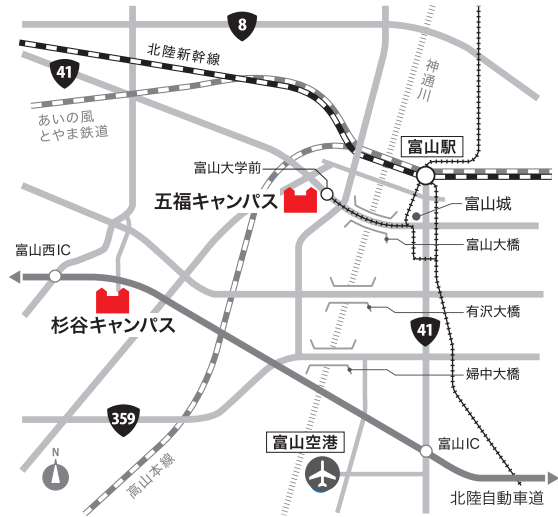
渡邊 雅志 准教授
 プロダクトデザイン、木材造形

ACCESS

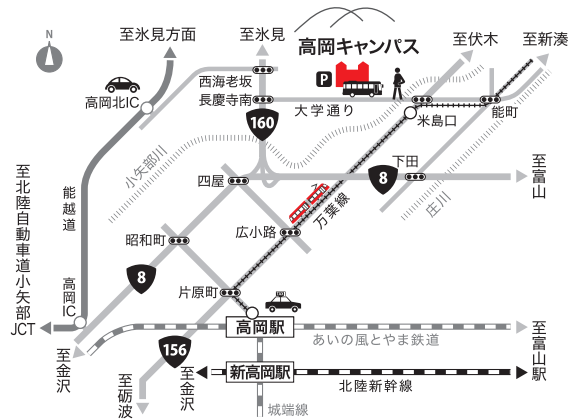
東京から	羽田空港から富山空港まで(約1時間) JR東京駅から JR富山駅まで(約2時間10分) / JR新高岡駅まで(約2時間30分)
大阪から	JR大阪駅から JR新高岡駅まで(約3時間) / JR富山駅まで(約3時間10分) 車で名神高速道路-北陸自動車道-小矢部JCT-能越自動車道-高岡北IC 車で名神高速道路-北陸自動車道-富山IC
名古屋から	JR名古屋駅から JR富山駅まで(約3時間) / JR新高岡駅まで(約3時間30分) 車で名神高速道路-北陸自動車道-小矢部JCT-能越自動車道-高岡北IC 車で名神高速道路-北陸自動車道-富山IC
北海道から	新千歳空港から富山空港まで(約1時間30分)



富山駅	市内電車「大学前」行き 約15分	富山大学前	五福キャンパス
	バス「富山大学経由」(3番乗り場) 約10分		
富山駅	タクシー 約10分	富山大学付属病院	杉谷キャンパス
	バス「富山大学付属病院循環」(3番乗り場) 約30分		



新高岡駅	城端線 約3分	高岡駅	万葉線 約20分	米島口	徒歩 約20分	富山高岡キャンパス(芸術文化学部)
	シャトルバス 約10分		タクシー 約15分			
高岡北IC	バス「城光寺運動公園行き」または「二上団地前」行き 約20分	高岡駅	バス「城光寺運動公園行き」 約30分	キャンパス	富山高岡キャンパス(芸術文化学部)	
	タクシー 約20分		自動車 約10分			



富山大学 芸術文化学部

〒933-8588 富山県高岡市二上町180番地

TEL 0766-25-9111 FAX 0766-25-9104

E-mail info@tad.u-toyama.ac.jp

<https://www.tad.u-toyama.ac.jp/>

f GEIBUN @geibun_kouhou



2021.06

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。